

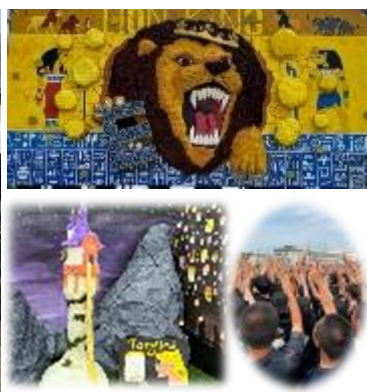


樹蔭静け

北海道帯広三条高等学校
〒080-2473
北海道帯広市西23条南2丁目12番地
TEL: 0155 (37) 5501
発行日 令和5年7月24日

第69回三条祭「Update Sanjo! ～容量無制限の青春～」を終えて

真夏の太陽が照りつける中行われた三条祭が無事終了しました。コロナの制限がない、いわばフル規格の三条祭は4年ぶり。生徒もPTAも経験がない中での作業でした。「もとに戻すのではなく、新たな三条祭を作り上げる」を合い言葉に準備を進めてきました。今回のテーマにあるように十分“Update”できたのではないかと思います。そこで、中心となった生徒会長の鎌田潤音さんに振り返ってもらいました。



みなさん、こんにちは。三条祭、楽しんでいただけましたか？今年、4年ぶりにフルバージョンでの三条祭を開催できたことを本当に嬉しく思います。

フルバージョンでの三条祭にあたって、パレードや一般公開が復活し、本来の活気が戻りつつあります。その中でも私は、パレードに関わる応援実行委員長を担当しました。もちろん、誰も経験したことがないので、わからないことばかりでしたが、担当の櫻井先生やパート長のみなさんの協力のもと、ケガ人等が出ることなく、無事に終えることができました。また、来年への反省点もたくさんみつけれられたので、後輩たちにはより良いものを作り出してほしいです。

パレード以外にも新しい動きがあったことで、3年生はやるべきこと

が多く大変でした。しかし、「頑張って」や「お疲れ」など言ってもらえたことで、より一層良いものにしようと思うことができました。当日も暑い中でしたが、最後まで頑張りきることができました。特に、みんなの楽しそうな顔を見たときの達成感は一生涯の思い出です。

至らないこともあったと思いますが、無事全日程を終えることができたのは、校長先生をはじめとした先生方、チーム長、パート長のみなさん、生徒のみなさんの協力があつたからです。また、PTAや地域の方々の協力や温かい声援もとても励みになりました。みなさん本当にありがとうございました。これからも生徒会へのご協力をよろしくお願いします。

生徒会長 鎌田 潤音

教育・スポーツ



本校は地域と協働した探究活動を展開していますが、2年生はそれぞれの進路希望に応じた探究活動を進めることによって、自らのキャリアデザインに生かせるようにしています。今年度本格的なスタートをしたところですが、早速「教育・スポーツ」類型の生徒たちは、帯広養護学校を訪問し、「インクルーシブと特別支援教育」について学び、さらに障害者スポーツであるボッチャの体験をしました。生徒からは「特別支援教育について理解が深まった。自分のできることをしっかり考えたい」という感想がありました。

また、「地域課題解決」類型の生徒たちは、北海道総合政策

2年進路類型別探究本格始動

地域課題解決



部の「北海道総合計画に係る高校生からの意見聴取」に協力。北海道の課題について道庁職員から説明を受けた上で、十勝の課題と強みを踏まえ何が地域にとって必要か、生徒たちがグループ毎に発表しました。生徒からは、情報の発信がもっと必要で特に若い人たちに向けたSNSの有効活用が求められるという意見があり、その内容について職員の方と議論を深める場面もありました。

この他に「国際理解・人権」「ART・表現」「看護・医療 & 地域支援」「SCIENCE & TECHNOLOGY」の類型があります。それぞれ適宜、外部人材と連携しながら探究活動を進めていきます。

三条祭恒例企画

インタビュー

きらり



三条高校で輝いている生徒を紹介する校長インタビュー「きらり」ですが、今回は三条祭総合優勝チームのチーム長、田守君のインタビューと、各チーム長たちから後輩に送るメッセージをお届けします！



総合優勝を飾ったAチームのチーム長 3-1 田守隼人さん

今年の総合優勝はAチーム（1組）でした。優勝した時の気持ちを尋ねると、「1・2年の時と比べて本当にあっという間に終わったような気がします。自分は学祭で優勝したことがなかったので、初めて優勝できて最高の思い出になりました」といっこり。

リーダーとして心掛けていたことを聞くと、「楽しむことが一番と思っていました。準備段階から優勝とか口にするとうれしくて部活動みたいになってしまいます。みんなが楽しんだ結果として勝ち負けがついてくるといいなと思っていました」と語ってくれました。次に今回の学校祭で特に印象に残ったことを聞くと、パレードだったと言います。「この3年間で初めての経験でし

た。練習の時から1・2年生たちがしっかり声を出してくれましたし、本番でもみんなが声を揃えてパレードして、3学年が一つになった実感がありました」と嬉しそうに話してくれました。当日は暑かったねと話すと、「確かに暑くて汗ダラダラでしたけど、本当に一瞬の出来事のように思えるんです。とにかく盛り上がりました。声もすっかりかすれました」と満足げです。

最後に来年への課題をあげてもらいました。「有志発表と催しの時間がかぶっている上に、案外短い時間なので、もう少しゆとりがあるといいかな。全部のチームの催しに行けないのが残念でした」と控えめに答えてくれました。

サッカー部でも活躍してくれた田守さん。将来の目標は教員だとか。いつか三条高校に教員として戻って下さい。期待しています！



Bチーム 石原澄空

Bチームのみんなは、テーマが大雑把だったにも関わらず頑張ってくれて、おかげで準備優勝できて本当に感謝です！頼りなかったと思うけれど、みんなのチーム長ができてとても幸せでした。これから関わりは減るけど、苦しい時は学祭を思い出して乗り切ってね！（準）優勝したのはBチーム!!♡♡



Cチーム 菊池蓮

みなさん学祭楽しめましたか？僕はこんな後輩たちに囲まれてチーム長ができて本当に幸せです。作業の時から沢山協力してくれてありがとうございました。チーム長やパート長になるか迷っている人は、ぜひ挑戦してみてください。きっと自分の成長につながるはずです！みんな大好き！



Dチーム 河合雅也

みなさん学校祭お疲れ様でした。準備期間中も本番も、とても忙しく疲れたと思います。ですが、その頑張りに見合う感動や思い出が得られたと思います。高校生活最後の大会イベントをDチームのみんなと一緒に迎えることができ本当に良かったです！



Eチーム 大岸春斗

Eチームのみんなは作業に積極的に、人数の少ない僕たち3年5組は沢山助けられました。1・2年のおかげで自分たちの準備に時間をかけることができたし、とても楽しい思い出になりました。次はみんなが主役です！仲間と共に終わった後、「楽しかった！」と胸を張って言える学校祭を作り上げてください！



Fチーム 藤井翔理

Fチームの皆さん、お疲れ様でした。Fチーム全員が役割を全うしたことで忘れられない最高の思い出になったと思っています。来年の学祭はFチームだった皆さんが中心となり、今年以上に盛り上がることを願っています。楽しむことを忘れず、優勝を目指して頑張ってください。

